

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	青少年指導センターパトロール車借上事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	03	3節 学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）	主管課	生涯学習課				
施策	3-3	次代を担う青少年を育てる地域環境づくり	主管課長	恩田 一成				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市民	意図	青少年健全育成における補導活動の効率的推進を図る。
事業内容	青色回転灯を装備した公用車でパトロールを行うことにより、青少年の加害的行為や被害を未然に防ぎ、青少年の健全育成のための環境浄化を推進する。			
事業開始から現在までの状況変化	老朽化した公用車（パトロール車）から契約による借上げ（リース）車両に変更したことにより、安全で効率的な市内パトロールを実施している。より一層安全と効率的なパトロールのため、必要な装備の充実に努めている。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	補導活動従事者数	2835	2598	2278	人	→→
②							
③							
④							
⑤							
⑥							

指標で表すことができない定性的な成果

目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）

事務事業のコスト	平成27年度	平成28年度	平成29年度
事務事業の総コスト(a=b+c)	3,684,180	3,489,730	3,609,385
事業費(b)(円)	394,380	459,930	640,785
うち一般財源	394,380	459,930	640,785
職員給与費(c)(円)	3,289,800	3,029,800	2,968,600
人役・職員(人)	0.40	0.40	0.40
人役・再任用(人)			
人役・臨職(人)	0.20	0.20	0.20
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）			

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H29)の改善計画	平成23年度から借上げているが、効率的な契約事務の執行	③取組の課題	同乗する青少年補導員の安全確保を図るため、車両の装備により一層の充実が必要である。
②今年度(H29)に実施した取組	冬季には運行の安全確保を図るため、スタッドレスタイヤ等を装備しパトロール活動を実施している。	④今後(H30以降)の改善計画	第一に安全の確保と、迅速かつ広域性のあるパトロールの必要性があることから、車両自体と整備の充実、より一層の安全性を重視したパトロールの計画と操業に努める。